



# プレーパークニュース

NO. 8



## 「にいのみ池プレーパーク」を見学しました！



- ◆日時 令和5年8月31日(木)午後1時から午後3時まで
- ◆場所 愛知県名古屋市緑区鹿山1丁目 新海池公園内
- ◆参加者 大人11人(市職員4人、市民7家族)(内市民参加の子ども7人)
- ◆行程
  - 12:00 市役所出発
  - 13:00 プレーパーク会場 現地到着  
主催者からQ&A形式での説明
  - 14:30 見学開始
  - 15:15 見学終了
  - 16:15 市役所着

プレーパークとは、禁止事項をできるだけ少なくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを基本とした子どもの遊び場のこと。



## にいのみ池プレーパークを案内してくれた人



つかもとたけし  
塚本岳さん(「ガクちゃん」の愛称で子どもたちに親しまれている)。名古屋市みどり児童館館長、(特)こどもNPO 副理事長、(特)日本遊び場づくり協会地域運営委員東海担当、あいち森のようちえんネットワーク代表 他役職多数。3女の父。プレーパークの活動についてお話ししていただきました。



## ガクさんとのQ&A (抜粋)



Q 1 「にいのみ池プレーパーク」の実施回数について教えてください。

A コロナ禍前後とも年間50~60回

Q 2 利用者数について教えてください。

(1) 1回あたり(※原則週1回木曜日に開催)

A 30人以上(コロナ禍前後とも)

(2) 年間合計

A 令和元年度 2,347人(3月はコロナ禍で中止)、令和4年度 2,699人

Q 3 「にいのみ池プレーパーク」設立のいきさつを教えてください。

A 塚本氏が所属していた(特)こどもNPO事務所の近くに本公園があり、適切な広さの



広場や森、住宅地が周囲に広がっていること等の好条件が揃っていたため、2006年から活動の一環として名古屋市の上フレーパークを実施してきた。初めに名古屋市の理解(許可)を得るのが難しかったが、「子どもの居場所作り事業」や「学習サポート事業」等の実績もあり、2008年にみどり児童館が名古屋市から指定管理を受託することができて以後現在に至る。



フール



野外ゲームコーナー



水の滑り台

**Q4 年間予算について**

**A** 約200万円(コロナ禍前後とも)。電気代は、みどり児童館で支払っている。

**Q5 支出に占める内訳(割合)**

**A** 人件費約80%、光熱費約1%、その他(消耗品等)約19%

**Q6 このフレーパークの特徴や特に大切にしている事があれば教えてください。**

**A** 参加している保護者を巻き込んで運営するようにしており、将来的にゆるい形でサポートをしてくれるグループを作りたいと思っている。

**Q7 設立から17年経って変わったこと**

- A** ・17年前に参加者だった子どもが大きくなり親となって子どもを連れて来るようになった。
- ・大人になっても続けて参加している人がある。
- ・初めころは手弁当でやっていたので、その頃の保護者は、自分事として関わってくれていたが最近はそのような方々は少なくなっている。
- ・フレーリーダーの人件費について、当初は苦労したが委託後は安定して支払い可能になった。



フレーパーク小屋

**🌳 ガクさんの話を聞いて 🌳**

\* いろいろ質問させていただく中で一番大切なのは、「サービスを提供する」のではなく「参加している人たちとみんなと一緒に作っていくもの」とあるという感覚が大事なことだと思いました。

お客様ではなく、仲間であるという意識を育て一緒にフレーパークを運営することが大切だと再認識しました。



【問合せ先】 〒480-1311 長久手市福井 1590-50 長久手市平成こども塾  
☎ 0561-64-0045 email kodomojuku@nagakute.aichi.jp